



「国際照葉樹林サミット in 綾」開催 照葉樹林の保全と持続可能な利用など議論

5月21日～22日にかけて、日本最大規模の照葉樹林が分布すること知られる宮崎県東諸県

郡綾町において「国際照葉樹林サミット」実行委員会(九州森林管理局、綾町、(財)日本自然保護協会、て

るはの森の会、総合地球環境学研究所、NPO法人ひむか維森の会、宮崎県木材青年会連合会)の主催により「国際照葉樹林サミット in 綾」が開かれ、町内外から約500人が参加しました。

これは、国際森林年(2011年)と国際生物多様性の日(5月22日)を記念して開かれたもので、東アジアに分布する照葉樹林の生物多様性やそれが育んできた文化、

21日午前の基調講演ではマラヤ大学教授の大澤雅彦氏が「世界の照葉樹林の現状とその保全の重要性」、また、中国科学院昆明植物研究所の魯元学氏が「中国雲南省における照葉樹林帯の植物及びその利用」と題し講演が行われました。

大会宣言文を発表する関係者(綾町)

午後からの分科会別討議では3つの分科会で「照葉樹林を活かした地域づくり」(第1分科会)、「里山照葉樹林の恵みと危機」(第2分科会)、「照葉樹林・生活文化の発展的継承」(第3分科会)をテーマにそれぞれ熱心に討議が行われました。また、体験分科会として「親子で作る木工教室」が行われました。

第2分科会では、ブータンの

照葉樹林やそこに息づく文化に関する報告のほか、「森林療法」という新たな照葉樹林の利用の可能性、生物多様性や森林生態系を維持していくための里山照葉樹林の持続的利用の重要性などについて議論が行われました。

全体討議では、各分科会の代表者からの報告と、報告を踏まえた活発な議論が行われ、最後に「東アジア全体で危機的状況にある照葉樹林の保全を進め伝統的な知恵を将来にわたって発展的に継承し、持続可能な利用を広く推進する。」などとする大会宣言が採択され終了しました。

(担当：指導普及課)



基調講演を行う大澤雅彦教授(右)・魯元学氏(左)

自署の名山



大分西部森林管理署
山国森林事務所

森林官 秋吉 新一

今回紹介する「犬ヶ岳」は大分県の北西部に位置し、西方にある英彦山からは峰続きの山で別名「甕ノ尾」（かめのお）とも呼ばれています。犬ヶ岳という名称は、山頂に鬼神の霊を祀ったことから、その鬼神の霊を威奴・異奴（イヌ）と呼び、そして犬ヶ岳、犬ヶ岳とかわったようです。中腹まではスギ、ヒノ

急崖の難所「犬ヶ岳」 登山客を癒す満開のシャクナゲ

木の人工林で占められ、稜線はブナ、ミズナラ、カエデなどの天然林が分布し、特に犬ヶ岳東側登山道沿いはシャクナゲの群落が可憐な花を咲かせます。

登山コースは、福岡県豊前市側から登るコースもありますが、旧耶馬溪町相ノ原地区からのコースを紹介します。

相ノ原地区の県道沿いに「犬ヶ岳登山道入口」の看板があり指

導標に従って作業道を30分ほど進みスギ林を上ると県境の笈吊（おいつる）時に登りつきます。

一息入れ、ここからは山伏たちが背中の笈を外して吊り上げたという難所で急崖の笈吊岩をチェーンにしがみつきながらよじ登ります。決して下を見ないように！足がすくむ方は心配で無用・・・安全な迂回路があります。

シャクナゲ群落をくぐり抜け稜線を進むと犬ヶ岳山頂に着きます。時間にして往復約4時間の行程になります。

シャクナゲの花は、神霊にささげた神の花とされており、登山はシャクナゲが咲く5月上旬に併せて是非カメヲを持って登られてはいかがでしょう。

当管内では平成19年度に「中摩殿山国有林周辺希少猛禽類生息調査」の委託調査でクマタカカの生息が確認され、クマタカの営巣抱卵の時期を避けた期間に林道新設や治山、造林作業を実施するなど地元野鳥の会とも連携した中で、生息や繁殖に配慮した事業を行っております。



(上) 県道から見た「犬ヶ岳」の遠望



(下) 犬ヶ岳東側林道沿いに咲いたシャクナゲ

森林教室で学ぶ体験学習

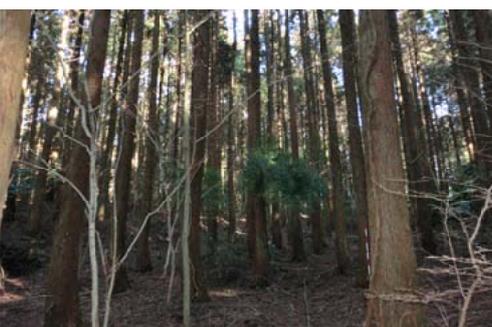


三角定規で測樹体験する児童ら＝都城支署

【都城支署】遅霧国有林において、三股町立三股西小学校4年生に「樹木調べ・丸太切り・測樹体験」の森林教室を行いました。「樹木調べ」では、広葉樹の樹皮や葉など特徴の違いを学び、「丸太切り体験」では、児童らは、伐り終わった丸太を大事に持ち帰っていました。また、「測樹体験」では、三角定規を用いて木の高さを見比べて高さがあったところの距離を測りました。最後に児童から「今日の体験を、今後の学校での課題作りに生かします」とお礼の言葉がありました。この模様はテレビ・ラジオ・新聞などに報じられ、森林・林業の重要性等をPRすることができました。

学校分収造林材で校舎建築

【大分西部森林管理署】九重町（当時飯田村）と契約した学校分収造林は、昭和26年3月に飯田中学校の職員および生徒により植林され、その後60年間造林・間伐などを実施。契約満期を迎えた平成23年2月末に九重町長と収益分収が成立しました。九重町は、平成25年4月の開校を目指して町内の中学校を統合した新たな中学校を建設する予定で、当分収造林のスギを校舎や机・椅子の材料として利用し、木材の特性である温かみのある学校にしたいと考えており、スギに囲まれた新校舎の中で、スギのように真っ直ぐに育つ子供たちの健やかな成長を願っています。



立派に育った学校分収造林のスギ＝大分西部



郡山 紀満さん

親から相続した山林約80畝を兄と管理しており、毎年10畝程度の除間伐を行っております。何とかコストダウンが出来ないかと思案中にモニターの募集を新聞で見つ、林業の勉強をし

たく応募し参加しています。私も兄も定年後、林業に頑張っており立木の成長を楽しみにしています。

今年、国際森林年であり、どんな企画がされるのか楽しみにしていた所、

正月早々除間伐に対する補助率が下がる、形状の悪い原木の林地内放棄は認められない。30畝以上を団地化しないと補助の対象にならないなど林業経営には厳しいことだけを耳にします。

林業では生活が苦しく、山村は滅びつつある所へ今以上に条件が厳しくなれば山は荒廃し、のであったが後に入庁同期と話す機会があり他署は冷房施設などもなく夏は扇風機・うちわが必須とのことで羨ましがられることしきり……。その庁舎も今では古い方から数番目、刻の経過を実感するばかりである。

驚きを隠せなかった。また、当時生産されていた〇〇スギを隣接署所有の官船に積み込む際、あまりの重量に耐えきれずワイヤーが切断し着船場の船が危うく転覆しそうになったことも記憶に残っている。



入庁30年、時には若かりし頃を振り返ってみたい。

不安ばかりを胸に宮崎県内の某署に着任、新築数年目の真新しい2階建て庁舎に入ると自衛隊ジェット

ト機の爆音対策の二重窓に館内全てが冷暖房完備、署内では快適な環境のなかで山官人生発進、今では当たり前のことではあるが当時はあまり普及していなかった冷暖房に、さすが国有林・営林署と思っ

立木の成長を楽しむ

蔓が繁茂した竹林となり緑り豊かな国土は消滅してしまっています。このため、林家の人が生計を立てるのは無理のため仕事を求めるのは無理ため

都会へ出て行くのです。森林は空気の浄化、水源涵養、

国土保全、生物多様性の保持、木材生産といったさまざまな機能をもち循環型社会を形成しております。

昨年、モニター会議に出席し、霧島国定公園内のシカ被害対策を見学しました。ヒノキの食害

〇〇スギが生きの記憶ではあるが、めまぐるしく変化する状況のなかで、たまには古き良き時代を振り返り、昔若かった友と語り合うのも現代社会を乗り切る一興ではないでしょうか。

（経理課長 迫口 親）

は80%ぐらいで、ネットで防護してありましたが対応が遅くもつと早く手を打つべきです。スギの植林地は金網の防護柵でした。が採算的に個人では無理だと思っていました。3月26日、私が所属しているボランティア団体「森林の学校一歩会」がクヌギの植林、タケノコ掘り、椎茸のコマ打ちのイベントを行い、子供達に楽しみながら山に触れてもらいました。参加者から来年も是非実行して下さいと感謝され、スタッフ一同感激し、来年も「やるぞ」と決意しました。

（鹿児島県鹿児島市在住）

グリーンポート襲

【都城支署】高山植物盗採防止の巡視や自然保護の取り組み、登山者へのマナー啓発の呼びかけを行う森林保護員(グリーン・サポート・スタッフ)を本年度も4人任命し、えびの市のえびのエコミュージアムセンサーで出発式を行いました。出発式には、管轄森林官および関係者が出席し、森林保護員は業務第一課長から、雇用通知書の交付と巡視にあたっての注意事項と安全指導を受け巡視に向けて出発しました。これから本格的な行



雇用通知書の交付を受ける森林保護員＝都城支署

人のうごき

5月9日付森林管理局局長発令 大分西部署課付 福泉裕介(大分署) 職員厚生課安全衛生係長 川口文明(職員厚生課) 宮崎北部署業務第二課長 深田隼人(職員厚生課) 宮崎北部署課付 山本隆之(宮崎北部署) 職員厚生課 深耕富大(経理課)

わずかに残る昔の記憶

数年後、今では世界遺産に登録された南の島へ、学生時代に見たものとは似ても似つかぬ〇〇スギなどを目の前に、今後業務で携わっていく森林・樹木の生命力、何とも言えぬ威厳さに

国民の森林づくり活動に貢献 NPO法人災害通信ネットワークに感謝状贈呈

5月16日、九州森林管理局局長室において、国民の森林づくり推進功労者に対し林野庁長官感謝状の贈呈式を行いました。

これは、国有林野における国民の森林づくりの推進に功労のあった者に対し感謝の意を表し、もって国民に開かれた「国民の森林」としての国有林野の管理経営を一層推進する観点から、

- ①森林づくりに功労のあった者
- ②森林環境保護に功労のあった者
- ③国産材利用推進に功労のあった者の表彰基準に該当する個人又は団体を表彰するもの。

今回、平成12年4月に当局と協定を結び「森林監視隊」を発



感謝状を手に代表の橋柿氏と局幹部

足させ、長年にわたりボランティア活動により国有林野内へのゴミの不法投棄の監視や山火事防止の啓発などの森林環境保護に功労のあったNPO法人災害通信ネットワーク（理事長・橋柿正與氏）に林野庁長官感謝状を沖修司局長から伝達贈呈されたものです。

（担当＝総務課）



春に大きな紫色の花を咲かせるおなじみの花です。昔、中国から渡来し、庭園などに

観賞用に植えられる樹木です。種子を観察したことがありますが、熟すまでは緑色の堅い殻に包まれ鳥などに食べられないようにしています。種子が熟すと殻を開き、赤い種子を白い糸のようなもので垂らし鳥が食べやすくなる工夫をしています。モクレン科は種子を垂下する不思議な生態をしています。

この時期には大型の花がたくさん咲きますが、ハク（白）

「ごぼう」の自然サポート

【大分西部森林管理署】くじゅう連山の高山植物の保護や登山者のマナー向上を目的に、平成18年度からグリーン・サポート・スタッフによる巡視活動を実施。今年度も行楽シーズンに合わせて、出発式を行い、4人の巡視員は無事故を祈り巡視をスタートしました。当日の様子は新聞にも掲載され、巡視活動の重要性を

PRすることができました。



巡視へ向かう4人の巡視員＝大分西部

④5 モクレン (モクレン科)

モクレンに対してモクレンは紫色をしていることからシ（紫）モクレンとも云われます。モクレンのつぼみは方向が分かるかと云われています。花を解剖して観察すると雄しべが螺旋状に花柱を取り囲んでいます。日光が当たった方（南）の雄しべが早く成長して大きくなりつぼみの先は反対方向（北）を向くこととなります。

見分け方は、花が咲いているとモクレンの花は半開き、コブシは花弁を広げて全開します。この区別は容易にできます。樹木園の中央、藤棚



みどりの取歩路

話題の「もしドラ」は既に250万部を突破しているらしい。ある方に勧められた一冊である。作者の懐具合を気にするのは私の悪い癖ではあるが、心の奥に潜む向上心に揺さぶりをかける我々組織人必見の名作である。あえて長いタイトルは控えさせて頂くが、日本人お得意の「短い造語」が耳に残り心に問いかけてくる。圧巻である▲知人の地元新聞の掲載を目にした。世界で最も「短い詩」俳句。天賞受賞の記事である▲俳句とは、江戸時代に完成したもので四季おりおりの自然の美しさや、それによって引き起こされる情感を五・七・五の十七音にまとめた一種の定型詩とのこと。「鎮魂の思いを込めて、感じたまま自然な思いを。」俳人が遠く熊本から、東日本大震災の被災者の痛みを感じた一句が選者から評価され受賞。俳人の感性と優しいお人柄が伺える▲震災で誰しもあらゆる場面で心の底から人の心の痛みを感じた今年。今こそ、森林の持つ効能にも似た人の心を豊かにする二つの「短い感銘」を是非是非、読んで、詠んで、頂きたい。（た）

PRすることができました。